



学校だより

5月号

第415号

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

表現の進化に期待

校長 金森 孝子

新緑が目にも染みる季節となりました。朝、南門で子どもたちと挨拶を交わしていると、鶯（ウグイス）の鳴き声が響いてきます。「ホー ホケキョウ」、何度聞いても「ホー ホケキョウ」。最後に「ウ」がつきます。「鳴き声も多様だなあ」と鶯に個性を感じながら、子どもたちと挨拶を続けました。1年生の挨拶は初々しいです。はっきりと挨拶する子、軽く会釈する子、手を挙げてタッチをしたい気持ちを表す子、友達数名と声を合わせて挨拶する子どもたち、実に挨拶の仕方も多様です。

4月26日（月）、今年度初めての集会「1年生を迎える会」を行いました。昨年度の計画委員会が企画し、「1年生がよい学校生活を送れるようにする」という集会のめあてに合わせて、学年ごとに発表する内容を決めました。全校で集まることができないためテレビ放送での実施です。今回、計画委員の司会や始め・終わりの言葉、私の話などは生配信で行い、各学年の発表などは、あらかじめ動画にとっておいたものを流すというハイブリットな方式をとりました。昨年度からこの方法での発表に慣れている子どもたちは、動画でできることを心得ています。効果的な編集を行うなど、表現の多様さに感心することしきりです。各学年の発表も、学年の特徴やよさ、工夫が随所に感じられました。（プログラム順に紹介していきます。）



校門の花壇に咲いた
アヤメ科の植物(4月26日)

- ◇ 2年生（生配信） クラス代表による、1年生へのプレゼント～メダル～の紹介。集会の後、2年生が1年生の教室へ渡しにいきました。1年生がメダルを見せに校長室へきてくれました。
- ◇ 3年生（動画） 歌のプレゼント「小さな世界」。クラス毎に担任の伴奏（ギター、ピアノ）に合わせて歌い、リレーでつないで発表しました。3年生の素直さが表れていました。
- ◇ 4年生（動画） 校歌の紹介。1番と2番を1組2組のリレーで斉唱し、編集して1つの曲として発表しました。4年生の歌声の美しい響きに感心しました。
- ◇ 5年生（動画） 全校ダンスの紹介。学校の様々な場所で、子どもと大人が全校ダンスを踊ったものを編集して発信しました。「ムービー夜に駆ける山田小バージョン」という感じでした。
- ◇ 6年生（動画） クイズで教職員数名を紹介。紹介する相手の良さを上手に引き出し、テロップを入れるなど見ている人を楽しませる工夫もあり、学校の楽しいところを伝えていました。
- ◇ 1年生（動画） 2～6年生の発表へのお返しとして1年生全体で「さんぽ」を斉唱。入学から3週間の子どもの明るい歌声に、これからの成長が楽しみになりました。

集会の最後に、6年生から「いっしょに、楽しい山田小をつくっていきましょう」という言葉がありました。現在コロナ禍の長期化が懸念されますが、その一方で、不可欠となったICT機器の利活用、表現の多様化など、コロナ前では想像もしなかったスピードで、学校は変化しています。山田小50周年アニバーサリーでは、子どもたちのハイブリッドで多様性に満ちた活動や表現が展開されるでしょう。「いっしょに、楽しい50周年を」地域、保護者の皆様には、今後、50周年に関わる学習や事業の進捗状況を学校だよりで伝えてまいります。どうぞ、ご期待ください。



タンポポの綿毛(4月28日)